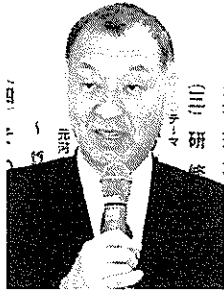


2010年(平成22年)2月4日(木曜日)

ノバティながの早期 再オープン経緯解説

再開発ビル活性化
NWの1月研修会

NPO(非営利組織)法人
再開発ビル活性化ネットワーク
(藤山正道理事長)は1月
29日、大阪市中央区の大阪府
商工会館で1月研修会を開い
た。



藤山理事長は冒頭、「再開
発ビルは今、逆風の中にある。
当会では昨年10月の研修会で
事業を拡大するアクションプ
ランを定めた。これからは、
団体自身の力をつけ、各機関
に提案していかねばならな
い。再開発に関する法律は、
日本経済が上り坂の時にでき

たものだ。現在は下り坂であ
り、時代に則した法律が必要
だ。当会でそういった提案も
していきたい」と、あいさつ
した。写真。

研修会では河内長野都市開
発で顧問を務めていた高橋成
明氏が、再開発ビル「ノバテ
ィながの」の、再オープンまで
の経緯や取り組みについて、
講演した。

ノバティながのは、198
9年4月にオープンしたが、
キーテナントである西友と南
海都市創造が2009年3月
に撤退し、地下1階地上5階
の約8割が閉店した。残った
店舗の多くは赤字となり「幽
霊ビル」になる恐れがあつた
が、早期に後継テナントを確
保し、09年11月26日に再オ
ープンした。

高橋氏は「地権者と協力し
て権利を再編できたのが大き
かった。また、西友との協議
を通じて、ビル自体が抱えて
いる課題を把握し、後継キー
テナント選定がスムーズに
できた」と、早期に再オープン
できた要因を話した。